



学校だより

横浜市立洋光台第一小学校

令和5年1月10日発行

令和4年度

1月

『ありがとうございます』のメッセージ

校長 中村 智

12月2日（金）、3日（土）、6年生は、日光修学旅行に行ってきました。6年生は、4年生の時、5年生の時と、どちらも新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊の体験学習ができなかった学年です。今回の修学旅行が小学校における最初で最後の「宿泊」行事となりました。

スローガンは「実際に観る 情報を聴く 意見を言う」です。これは、三猿（見ざる、言わざる、聞かざる）に掛けてそれぞれを目標にしています。そして「～集団だということを考えて行動し、責任をもって楽しもう～」と続きます。このスローガンのもと、6年生はこれまでの事前学習や校外学習の積み重ねを生かして、正に責任をもって楽しく、そして学びを深める二日間を過ごすことができました。

1日目の夕食後、6年生が食堂を後にしたとき、食堂のホールのスタッフの方から「先生！」と声を掛けられました。聞くと、一人ひとりに用意してくださっていた白い封筒（食事にマスクを入れるためのもの）に、こう書いてあったということで、見せてくださいました。

“とてもおいしかったです！！ ありがとうございます。”

続けて「とても嬉しいです。」「こんなこと初めてです。」「皆に知らせます。」とたいそう喜んでくださっていました。そして足取り軽く、その封筒を厨房へ持っていかれました。この後、スタッフの皆さんでこのメッセージを読んでもらえたことと思います。私も胸が熱くなりました。このことを近くにいた旅行会社の方に話すと、とても感心していらっしゃいました。

2日目、子どもたちが宿を出発する際、同じように、感謝の言葉を書いた紙が置いてあった部屋もあったと担任の先生から聞きました。部屋の片付けや清掃をしてくださるスタッフの方にも喜んでいただけたことでしょう。

お世話になった宿の方やバスの運転手さん、そして友達や教員への「ありがとうございました」「ありがとう」の言葉も、たくさん聞いた二日間でした。

自分たちの感謝の気持ちをこのような形で表現していく洋一小の子どもたちです。この「ありがとうございました」「ありがとう」の文字や言葉が、相手にエネルギーを与え、そしてコミュニケーションを豊かにしていくことでしょう。

サッカーワールドカップでは、日本代表チームが試合後ロッカールームを出るときにとってもきれいに整理整頓していること、そして「ありがとう」と書いたメッセージカードを置いていたことが多くの海外メディアから称賛されたと報道されていました。

同じようなことが洋一小でもあったことを嬉しく思いながら迎えた2023年のスタートです。

本年もどうぞよろしくお願いたします。